

12月31日(火)

美しい死

聖書朗読 イザヤ 53:1~9

イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」 ヨハネ 11:25~26

「美しい」という言葉は、インターネット辞書によれば、「すばらしい、とても喜ばしい、または満足させること」と定義されています。死は「命の終わり」として定義されています。この二つの言葉を合わせると、お互いに矛盾するようにみえます。命の終わりをどのように喜ばしくすることができるのでしょうか？ さて、私の友だちが彼女の夫の死を描写した仕方がまさにそれにあてはまるのです。彼女は、夫の人生が終わりに近づいたことを教会の家族と分かち合いました。夫が最後の息のとき、彼は家族と友人たちに見守られながら平安でした。その友だちの言葉は、「それは美しい死だったわ」でした。

イエス様の死はこれと同じように平和なものではありませんでしたが、純愛の死でした。ですから私たちはそれを美しい死とすることができます。物質的な側面におけるイエス様の死は恐ろしく醜いものでした。イエス様はご自分のお父様に叫びました。その叫びは完全に見捨てられました。イエス様は人々を救い、罪の身請けするために死を選んだのです。

イエス様は天使を呼んでご自分を自由の身とすることもできたでしょうに。奇跡をおこして十字架をのがれ、逃亡して生き続けることもできたでしょうに。イエス様はわたしたちを愛されるあまり、ご自分のいのちをあきらめ、私たちが生きられるようにしてくださいました。イエス様は死を選び、そしてそれは美しい死でした。

讃美歌 138

祈り 親愛なる神様。私たちが罪から救うためにあなたの息子を地上に送ってくださったことに感謝します。私たちがイエス様の死を当然と受けとめることなく、イエス様の究極的な犠牲のなかにある美しさを澄んだ目で見ることができるようになります。

イエス様の御名において。アーメン。

シェリル・ベーカー
インディアナ州 ラポルテ

1月1日(水)

天国の神様

聖書朗読 ダニエル 2:19~28

ダニエルは王に答えて言った。「王が求められる秘密は、知者、呪文師、呪法師、星占いも王に示すことはできません。しかし、天に秘密をあらわすひとりの神がおられます。」 ダニエル 2:27~28

私たちは、若いユダヤ人捕虜のダニエルから多くを学ぶことができました。ダニエルは、打ちのめされた態度で受身的に後ろに引っ込んでいたような、また、物事が起こるままにさせておくような人ではありませんでした。ダニエルと王の賢者はすべて死罪になるであろうと知らされたとき、ダニエルは王の元へ直接行き、その状況を解決するための時間をくれるよう頼みました。ダニエルは行動型の人でしたが、力によって突き進むタイプの人ではありませんでした。ダニエルは常に思慮深く、賢く、如才なく機転が利きました。そして彼の外交術は良い結果をもたらしました。

ダニエルはどのようにして、そのような難しい状況において成功をおさめることができたのでしょうか？ まずダニエルはすぐさま神様のところへ謙遜した態度で行き、慈悲と理解を求めました。それからダニエルは、彼が願った知識を得るとすぐそれを皆に、上は王から下々までに、すべての知識は神様だけからくると、はっきりと伝えました。ダニエルは何も自分の手柄とすることなく、すべての栄光を神様に帰しました。

今日、神様の国民である私たちにとっても、同じことが言えます。私たちが所有するどんな知恵も能力も神様お一人から来たものです。ダニエルのように、私たちは謙虚に、すべての機会を使って、すべてを知り与えてくださる天国の偉大なる神様の世界について話しましょう。

讃美歌 第二編 17

祈り 天国の神様。私たちはあなたの前に謙虚に身をかがめ、福音の秘密——あなたの御子を通しての救いという贈り物——を私たちに明かしてくださいましたことに感謝します。私たちがこの世とその秘密を分け合うことによって、あなたに栄光を帰すことができますように。

イエス様を通して祈ります。アーメン。

ジャン・クノックス
テキサス州 グランベリー

1月2日(木)

彼の王国は永遠！

聖書朗読 オバデヤ

御名を知る者はあなたに抛り頼みます。主よ。あなたはあなたを尋ね求める者をお見捨てになりませんでした。
詩篇 9：10

オバデヤ書には一章しかありません。しかし、この章はエドムの国(エサウの子孫)に向けて、エドム人がユダの滅亡の起因となることがないようにと、エドムに対しての戒めのことばに満ちています。

この短い章の中で、ユダは転落から立ち直るであろう。そして、エドムは罰を受けるであろうと神様は宣言しています。最後の節では、神の民の救済が宣言され、『王権は主のものとなる。』と力強くしめくられています。

オバデヤは厳しい書ですが、励ます言葉もあります。その言葉は聖書の中でずっとドラムが途切れなく打たれ続けるように響いている言葉です。それは、その言葉の見かけがどうであれ、神様は最高の支配者であるということ言葉です。神様は誰が自分の民であるかご存じです。神様は物事が最適な結末となるように治められるでしょう。そして、最終的には主の中の主としてすべての人に認められるでしょう。

マーティン・ルーサー・キング牧師の偉大な賛美歌にはこの真実が表されているので、私はこの賛美歌をいつも愛しています。

そして悪で満たされたこの世界が
わたしたちを脅かそうと、私たちは恐れぬ
神には真理があり、私たちを通して勝利を示されるから。
物品や身内、限りあるいのちは手放せ。
彼らは、この身体を殺すことはできよう。しかし神の真理は静かに立つ。
神の王国は永遠だ！

聖歌 589

祈り 最高なる主よ。私たちではなく、あなたが神であるということを私たちはわかっています。私たちは謙虚にお願いします。今日、あなたの王国の完全さを見るためにあなたが私たちの見方を新しくしてくださいように。

あなたの御名において。アーメン。

ジェフ・ケリー

テキサス州 ラボック

1月3日(金)

誰がここを治めてくれるの？

聖書朗読 ミカ 7：14～20

どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを超えて豊かに施すことのできる方に、
エペソ 3：20

経済不況、不道德、家族不和。これらのことは、ますます私たちの日常で見られるようになってきていると思います。それは気持ちを滅入らせます。私たちの世界が望みなしに見えるとき、私たちはどうすればいいのでしょうか？ 政治改革に望みをもちますか？それがダメなときは、富や保護を求めますか？何を求めるって？しかし、神様の愛の日光や救い主の情熱を感じている人は、何かを求め続ける必要はありません。私たちはもうすでに答えを握っているからです。

その答えは神様の恵みであり、誠実さです。神様は私たちを救いに来続けてくださいます。神様は私たちを赦し続けてくださいます。神様は私たちを愛し続けてくださいます。神様は私たちのために一番いいことをしてくださいます。神様はご自分に私たちを結びつけたがっていらっしゃいます。それは私たちが喜びで満たされるためです。神様は私たちに自信を持たせたがっていらっしゃいます。神様の中にいるという自信です。苦しい時期が来るとき、私たちはその状況に責任をもって対応している神様に信頼を置くことができます。そして、その信頼によって、まだ神様の王国につながっていない人々に、神様の存在と愛、そして神様はその民を大切にしてくださいと示すことができるのです。

讚美歌 第二篇 184

祈り 聖なるお父様。あなたが責任をもって治めてくださっていることを私たちが忘れるときは赦してください。あなたが直すことのできない不調はありません。私たちが、周りの人たちの人生を輝かすことができるように、自信をください。

イエス様の御名において。アーメン。

ビル・マッコーガン

オレゴン州 フィロマス

1月4日(土)

名前によって示されるもの？

聖書朗読 マタイ 1:18~25

マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。

マタイ 1:21

あなたはこの新しい小話について知っているかもしれません。ペンシルバニアに住む夫婦が彼らの3歳になる息子アドルフ・ヒットラー君のために、バースデーケーキを注文しました。厳粛主義のスーパーマーケットの店員は、ケーキの上に「アドルフ・ヒットラーくんお誕生日おめでとう」という飾り文字を入れるのを拒絶しましたとき！

さて、名前とは何でしょうか？ その質問には多くの答えがあります。少なくとも、父なる神様はご自分の息子の名前をつけるとき、とても計画的でした。神様はまずマリヤにそしてヨセフに御使いを送りました。御使いは二人に、マリヤがみごもっている赤ん坊の名前を何とつけるかについてこう告げました。マリヤには、「あなたはその子をイエスと名づけるでしょう」と言い、ヨセフには、「その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です」と言いました。

マリヤに生まれ、彼女とヨセフに育てられたその息子は、その受胎から『神の栄光の輝き、神の本質の完全な現れ』(ヘブル1:3)となるために、ずっと以前から計画されていたことでありました。その息子が彼ら二人の腕の中に抱かれるずっと前から、その子の名前は、「ご自分の民をその罪から救う」という神様の願いとご計画によって、栄光を持って語られてきたのでした。

讃美歌 第二編 163

祈り 私たちの天国のお父様。あなたの御名とあなたの高貴な御子イエス様の御名を賛美します。私たちはあなたの助けを求めて祈ります。たとえ何をしようとも、私たちが言葉と行動において、主なるイエス・キリストの御名のもとにそれを行うことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

クリス・フリッツェル
テキサス州 グランベリー

1月5日(日)

ドラマにひきつけられる

聖書朗読 マタイ 4:1~11

さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。

マタイ 4:1

神様は私たちが聖書を読んでいるとき、現実の感覚から引き離されてそれを読むことは決してないようにと意図されています。実際、私たちは激しい信仰的葛藤に引きずれ込まれることなしに、また、私たちの日常生活の根底をみることなしに、誘惑に関する話を読むことはできません。読みながら、私たちは同様の葛藤を感じます。それが本当です！

映画や本は地上のモンスターや銀河系での戦争についてのイメージを浮かび上がらせませす。しかし、今日の朗読箇所、砂漠での御言葉は、真に生か死についてです。神様が人間へ与えようとする恵みをサタンがなんとか挫こうと狙っています。これは私やあなたにとっても、個人的に当てはまる問題です。

イエス様がサタンの誘惑に陥ることなく、御言葉を引用して次々にサタンに答えたとき、この瞬間こそが精神を高揚させるドラマです。地上でのイエス様の務めを脱線させようとのサタンの誘惑に対するイエス様の勝利によって、私たちは喜びをもって聖書の話を読み続けることができます。イエス様の中にある私たちの勝利、その血によって洗われているということ、非難の最中に与えられる慈悲。聖書の中で語られる御言葉のすべては、この砂漠での瞬間に帰しているのです。

私たちはキリストに力を求めます。私たちはそれを自分自身では持っていません。誘惑に対し勝利をおさめるためにイエス様は試みを受け、勝利をおさめられたのでゴルゴダの丘での十字架付けにおいても勝利をおさめることができました。イエス様のうちにあれば、私たちは勝利します。

聖歌 320

祈り お父様。イエス様により、あなたは私たちのために勝利をおさめられました。私たちが誘惑されるときには、イエス様にしっかりつかまっていられるように助けてください。私たちが失敗するときには赦してください。

イエス様の御名において。アーメン。

アル・コーネル
ウィスコンシン州 ヒルズボロ